

第43回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 当日課題

和文競技 「戦国の英傑たち」の作成（制限時間80分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 英数字はすべて半角で入力する。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 図形やテキストボックスの行間については、作成例を参考に、適宜調整をする。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。
- ファイル名は「選手番号 戦国の英傑たち」とする。
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

2. 用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上30mm 下左右20mm程度にする。
- ヘッダーの右側（上から10mmの位置）に「選手番号 選手名」を入力する。
※選手番号と選手名の間には、全角1文字分のスペースを入れる。
- フッターの中央（下から10mmの位置）にページ番号を設定する。
※作成例を参考に、図形を利用して家を作成する。
- ページ設定で、行数は「40行」を指定する。
- 段落の設定で、「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフにする。

段落

インデントと行間隔 改ページと改行 体裁

全般

配置(G): 両端揃え

アウトラインレベル(O): 本文 既定で折りたたみ(E)

インデント

左(L): 0字 最初の行(S): 幅(Y):

右(R): 0字 (なし)

見開きページのインデント幅を設定する(M)

1行の文字数を指定時に右のインデント幅を自動調整する(D)

間隔

段落前(B): 0行 行間(N): 間隔(A):

段落後(E): 0行 1行

同じスタイルの場合は段落間にスペースを追加しない(C)

1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる(W)

◆1 ページ目の設定

3. タイトル入力領域を作成する。
 - 図形：スクロール（横）、色 グラデーション（灰色系）
 - 枠線：黒、1pt

4. タイトル「戦国の三英傑」をワードアートで作成する。

ワードアートのスタイルは、作成例を参考に、以下の設定を行う。

 - フォント：行書体系、48pt
 - 効果：光彩 8pt 緑系

5. タイトルの左側に、作成例を参考に、複数の図形を利用して作成する。
 - 図形：曲線と線を組み合わせて作成 ※作成後、グループ化すること
 - 枠線：黒、1.5pt

6. タイトルの右側に、作成例を参考に、図形を作成する。
 - 図形：フリーフォーム（図形）
 - 枠線：黒、2.25pt

7. タイトルの下に「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「織田信長.png」、「豊臣秀吉.png」、「徳川家康.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
 - 文字列の折り返し：行内
 - 図の効果：影（透明度 35%、サイズ 100%、ぼかし 23pt、角度 45°、距離 11pt）

8. 「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」を入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：行書体系、18pt、ルビ

9. 「戦国時代、」～「築きました。」までを入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：明朝体系、10.5pt
 - 段落：左インデント 2 字、右インデント 2 字、字下げ 1 字

10. 作成例を参考に、「当時は三河国や尾張国」部分に割注を設定する。

11. 作成例を参考に、「三英傑の生きた年月（西暦）」を作成する。
 - フォント：行書体系、16pt、黒、太字、均等割り付け（15 文字）
 - 段落：中央揃え、網かけの種類：薄い斜め格子、オレンジ系

12. 作成例を参考に、「✦ 織田信長」～「✦徳川家康」部分を作成する。
 - フォント：行書体系、12pt
 - ※「✦」部分については、任意の記号を挿入すること。
 - 段落：左インデント 3 字、箇条書き、行間：1.5 行、タブ：15 字にリーダー(2)
 - ※「✦ 織田信長」部分のみ 段落前の間隔：12pt
 - ※「✦ 徳川家康」部分のみ 段落後の間隔：12pt

13. 作成例を参考に、「鳴かないほととぎすを三英傑ならどうする？」を作成する。
- フォント：行書体系、16pt、黒、太字 ※「ほととぎす」部分 傍点
 - 段落：中央揃え、網かけの種類：薄い斜め格子、オレンジ系
14. 作成例を参考に、図形と画像を挿入する。
- 図形：吹き出し（角を丸めた四角形）
 - 図形の色：テクスチャ（セーム皮）、枠線：黒、3pt、二重線（太線＋細線）
 - 図形内のフォント：行書体系、12pt、段落：行間 固定値、14pt
 - 画像：「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から以下の画像を使用
「ほととぎす_信長.png」「ほととぎす_秀吉.png」「ほととぎす_家康.png」

◆2 ページ目の設定

15. 「三英傑の概要」は、「11.」と同様の設定を行う。
16. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダ内の「三英傑の概要.txt」を使用して、ファイルからテキストを挿入する。
挿入したテキストは、3段組み（境界線を引く）を設定し、作成例を参考に、以下の設定を行う。
- フォント：明朝体系、10pt、段落：行間 固定値：15pt
 - 段区切り：「豊臣秀吉」から2段目、「徳川家康」から3段目になるように段区切りを挿入
17. 「16.」で挿入したテキストの見出し「織田信長」「豊臣秀吉」「徳川家康」に、以下の設定を行う。
- フォント：ゴシック体系、12pt、段落：中央揃え、行間 固定値：15pt
 - ※「☞」部分については、任意の記号を挿入すること。
18. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「本能寺.png」「足軽.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
- 図の効果：影（「足軽.png」のみ）
 - 文字の折り返し：内部
19. 「三英傑ゆかりの城」は、「11.」と同様の設定を行う。
20. 表を作成し、「安土城」～「名古屋城」までのデータを入力する。
作成例を参考に、以下の設定を行う。
- 外側の表
 - 罫線の種類：外枠 2.25pt 二重線（緑系）、内側 1pt 実線（緑系）
 - 1行目：セルの色 緑系、フォント ゴシック体系、11pt、白、中央揃え、太字
 - 2行目：セルの色 薄い緑系、フォント 明朝体系、10.5pt、黒、行間 固定値 13pt
「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「安土城.png」「名古屋城.png」を使用
 - ※「日本初の近世城郭」「三代目の天守閣」「那古野城と名古屋城」のみ：
太字、下線（太線・緑）、均等割り付け、段落後の間隔 0.5行

第43回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 当日課題

英文競技 「Abilympics」 Word ファイル、PDF ファイルの作成 (制限時間 60 分)

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 以下の番号は、完成した文書の各セクションの○付番号と対応している。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 Abilympics」という名前で保存する。
※選手番号とファイル名の間には半角 1 文字分のスペースを入れること。
2. 用紙サイズ：A4、マージン 25.4mm (1 インチ)、とじしろ 0 に設定する。
3. フッターに、作成例の通り、競技者名（ローマ字）、ページ番号、本日の日付を入力し、下からのフッター位置 15mm に設定する。
■フォント：Times New Roman、サイズ：9
4. ページ罫線を引く。任意の絵柄、線の太さ：15pt
5. 「ワード・プロセッサ⇨英文素材」フォルダ内の「logo.png」を利用して、透かしを設定する。

◆1 ページ目の設定

6. ワードアート「About International Abilympics(IA)」を挿入する。
■フォント：Arial Black、サイズ：28、太字、色：白、輪郭の色：緑系、影：緑系
■効果：変形 アーチ 下向き
7. 「ワード・プロセッサ⇨英文素材」フォルダ内の「logo.png」「topImage.png」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
8. 図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。
■円、矢印（山形）：灰色系
■矢印（五方向）：グラデーション（灰色系）
■フォント：Arial
1 文字目 サイズ：28、色：黄色系
2 文字目以降 サイズ：12、色：白

9. 本文を入力する。フォントと段落は、以下の通り設定する。

■フォント：Time New Roman、サイズ：10.5

■段落：行間1行、両端揃え

※他の箇所についてもフォントの指示がない限り、上記の設定を適用すること。

10. 「ワード・プロセッサ用英文素材」フォルダ内の「1stIA.jpg」、「3rdIA.jpg」を挿入する。

※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。

◆2 ページ目の設定

11. 「Overview of International Abilympics」は、「8.」と同様の設定を行う。

12. 「Competitions」は、以下の通り設定する。

■フォント：Gill Sans MT、サイズ：12、太字、文字の色：白、文字の背景：青系

13. 表を挿入し、作成例の通り、設定する。

■フォント：Segoe UI、サイズ：10.5

■セルの色：「Results for Japan」部分 青系、「Gold」～部分 水色系

「1st」～「10th」部分 濃い灰色系、「Tokyo, Japan in 1981」～部分 薄い灰色系

■罫線（外枠）：1.5pt、青系

■罫線（内側）：1pt、「1st」～「10th」部分 黒、それ以外 青系

■画像：「ワード・プロセッサ用英文素材」フォルダ内の「gold.png」、「silver.png」、「bronze.png」、「special.png」を挿入

14. 「Number of participating countries / Number of participants」は、「12.」と同様の設定を行う。

15. 右図のデータシートを参考に、縦棒と折れ線を組み合わせた複合グラフを作成する。

■第1軸：縦棒グラフ

軸ラベル：Number of participating countries

フォント：Segoe UI、サイズ：6

■第2軸：折れ線グラフ

軸ラベル：Number of participants

フォント：Segoe UI、サイズ：6

■軸、凡例

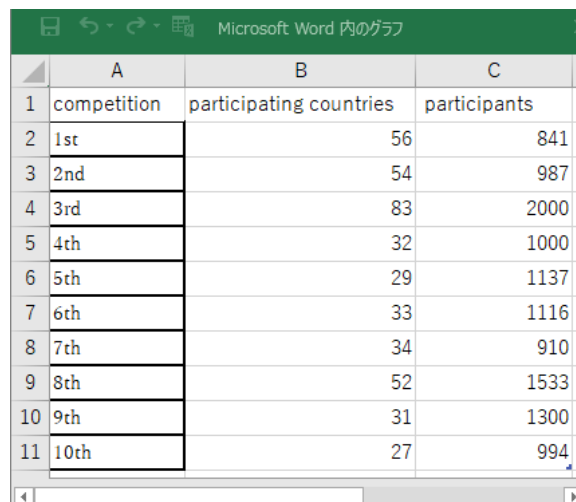
フォント：Segoe UI、サイズ：9

■プロットエリア

黄色系→白の線形（下方向）グラデーション

■グラフの外枠

色：青系、線の太さ：1.5pt



	A	B	C
1	competition	participating countries	participants
2	1st	56	841
3	2nd	54	987
4	3rd	83	2000
5	4th	32	1000
6	5th	29	1137
7	6th	33	1116
8	7th	34	910
9	8th	52	1533
10	9th	31	1300
11	10th	27	994

16. 「Metz, France in 2023」に、脚注「The 10th International Abilympics were held in Metz, France, from 22 to 25 March 2023.」を挿入する。
■脚注のフォント：Times New Roman、サイズ：9

◆3 ページ目の設定

17. 「Learn more about Abilympics」は、「8.」と同様の設定を行う。
18. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「What is Abilympics.txt」を使用して、テキストを挿入する。
19. 「What is Abilympics?」～「Registered Trademark No.6510693 / 6510725」に段組みを設定。段区切りと境界線を設定する。
20. 見出し部分「What is Abilympics?」「Mascot」、は、「12.」と同様の設定を行う。
21. 「In order to」～「since 1972.」、「His motif is」～「No.6510693 / 6510725」は、以下の通り設定する。
■ドロップキャップ ドロップする行数：2
■フォント：Times New Roman、サイズ：9
■段落前の間隔：0.5 行、行間：固定値 12pt
22. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Abilys.png」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
23. 「ABILMPICS」は、「12.」と同様の設定を行う。
24. SmartArt「縦方向画像リスト」を挿入し、作成例の通り設定する。
■挿入テキスト：「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「ABILYMPICS.txt」
■フォント：Tahoma
■挿入画像：「ワード・プロセッサ¥素材」フォルダ内の「regional-abilympics.jpg」「National Abilympics.jpg」「workfair.jpg」
25. 「Abilympics 2023 Japan～」 「The 10th International Abilympics～」部分を入力する。
26. 見出し部分「Abilympics 2023 Japan～」 「The 10th International Abilympics～」、は、以下の通り設定する。
■フォント：Times New Roman、サイズ：10.5
■簡条書き、段落罫線（上）

27. 「17.Nov」～「19 Nov」、「22 Mar」～「25 Mar」は、以下の通り設定する。
- フォント：Times New Roman、サイズ：10.5
 - 左インデント：2 字、行間：固定値 14pt
 - タブ・リーダー：12 字の位置にリーダーを設定
28. 「ワード・プロセッサ⇄英文素材」フォルダ内の
「Abilympics2023Japan.jpg」「The10thInternationalAbilympics.jpg」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。

◆文書全体の調整

29. 指示されていない部分についても、作成例と同様になるように編集し、上書き保存する。
30. 完成した文書を PDF 形式で保存する。
- ファイル名：「選手番号 Abilympics」